

## いまをだいに

夢を持ち なかよく かしこく たくましく 生きる室っ子をめざして

～いまをだいに なかまをだいに～

校長 宮脇真一

14日の「教育の日」に続き、本日は授業参観、PTA総会、学級懇談会を行いました。

今朝は子どもたちも少しそわそわしながら、家族が見に来てくれることを楽しみにしている姿がみられました。私の両親は仕事の関係で授業参観に来てくれることはあまりなく、専ら祖母が見に来てくれていました。みんなはお母さんなのに、自分はばあちゃんが来ていることにちょっとだけ気恥ずかしさを感じながらも、いいとこ見せようと頑張ったことを思い出した一日でした。



親子で「集中」(2025/4/18撮影)

## いまをだいに ～長くなりますが、最初なので思いを語ります～

通信のタイトル「いまをだいに」。今回はこの言葉について少しだけ私の「思い」を語ります。

大津町の学校教育ビジョンでは、その基本理念として「夢を持ち、夢を育み、夢を叶える教育実践」が、その基本理念として示されています。室小学校の学校教育目標も「夢をもち…」から始まります。この「夢」という言葉は、大事なところで用いられる言葉です。その「夢」に相對する言葉は「いま」と私は捉えています。

先日、5、6年生の学年集会で話をする機会をそれぞれの学年部からいただきました。どちらの学年でも話したのは、「自分の強みは何か」ということ。私たちは自分の弱点については案外簡単に述べることができますが、逆に「強み」を問われると、考えてしまいます。私自身もなかなか上手く言えませんでした。今は「興味を持ったことに対する集中力」と答えます。

前置きが長くなりましたが、「いまをだいに」というこの言葉にける思いは、「いま」の自分自身を認め、一日一日をだいに過ごすこと、その積み重ねが「夢の実現」への道筋になっていくということなのです。

この言葉に出会ったのは、40年ほど前、私が高校に入学した頃のことでした。挨拶に立たれた理事長先生が、次のように話されました。

いまの君たちは、まだ人生の道半ば。これからどれだけでも可能性は広がる。そのためには毎日の積み重ねを大事にしていこう。毎日、毎日「いまをだいに」していくことが、可能性を広げることにつながる。

今思えば、当時の私には十分な理解はできていませんでしたが、これまでの人生で、学生として学校で学んだり、社会人になって仕事をしたりしながら、多くの子どもたちや保護者の皆さん、地域の方、先生方と出会う中で、小さな積み重ねの大切さを感じたことは一度や二度ではありません。同時に「なかま」の存在の大きさも感じています。

「いまをだいに」「なかまをだいに」。学校教育目標のサブタイトルには、このような思いを込めています。最後まで読んでいただき、ありがとうございました。次回からは文字数をぐっと減らしていきます。